

# 在日米軍における新型コロナウイルス 感染症対策に関する要請

令和2年12月以降、日本国内の米軍基地において新型コロナウイルス感染者が急増し、基地周辺住民の安全と安心が脅かされています。

在日米軍基地における新型コロナウイルス感染症対策について、別記事項を早急を実施するよう強く要請いたします。

令和3年1月26日

全国市議会議長会基地協議会  
会 長 藤 本 泰 也  
(岩国市議会議長)



## **1 感染者に対する隔離措置などの感染拡大防止対策に万全を期すこと**

在日米軍基地において、新型コロナウイルス感染症が拡大しており、基地外への感染拡大につながる懸念があります。感染者についての経過観察・隔離を適切に行い、感染拡大防止対策を徹底するよう米側に働きかけることを求めます。

## **2 基地関係者は、基地内外での感染拡大防止対策を徹底すること**

米軍関係者の新型コロナウイルス感染者が増加する中、基地周辺住民からは、感染についての不安や懸念の声があります。基地周辺住民の安心と安全確保のため、基地内外において、基地関係者が感染防止対策をしっかりと実施するよう米側に働きかけることを求めます。

## **3 日本人従業員等への感染拡大防止対策に万全を期すこと**

米軍基地には、多くの駐留軍等労働者が勤務していることから、日米間でしっかりと連携し、その感染防止に努めることを求めます。また、基地に出入りする事業者などに対しても、基地内における感染防止を強化するよう米側に働きかけることを求めます。

## **4 感染経路・行動歴等、感染者に関する情報提供を適切に行うこと**

平成25年の日米合同委員会合意に基づき、米軍の医療機関と地元の保健機関との情報共有等が行われておりますが、感染症の発生状況や米側の措置など、基地周辺に影響を及ぼす可能性のある事項について、積極的に公表するよう米側に働きかけると共に、国の責任において情報収集に努め、適時・適切に公表することを求めます。

